

事務事業名		洪水ハザードマップ作成事業		会計	一般会計					
課等名		危機管理・交通安全対策係等名		事業種別	政策	開始	18	終了	24	
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり							
	施策	41	災害対策の推進							
目的	対象(誰・何を)	土砂災害・浸水想定区域内の世帯				指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	防災意識を高める。				対象指標	対象世帯数(指定世帯数)		600	
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害にそなえている割合(%)								
目標	種別	指標名及び単位				24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	マップの配布世帯数(部)				600	600			
	定性目標									
事業概要	<p>水防法が平成17年7月1日に改正となり、市町村が洪水ハザードマップを作成することとされた。さらに水位の計測できる河川については洪水ハザードマップを作成することが義務づけられた。                  当面マップを作成する対象河川は遠山川、松川、天竜川の3河川で、平成22年度までに実施する。                  飯田市管理の河川については、順次進めていくように県からの指導がある。</p>									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	天竜川水系(竜東地区)の洪水ハザードマップ作成 ※ 河川の浸水想定区域、土砂災害警戒区域、避難場所等を掲載 1 ハザードマップ作成・印刷(6月補正) 千代地区分 印刷部数2種類1,900部(うち配布数600部)				マップの作成・配布			1地区 600部		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		3,808	1,824	1,822	0					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		3,808	1,824	1,822						
人件費計(千円)②		358		358						
正規職員所要時間		100		100						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		4,166	1,824	2,180	0					
事業内容・目標達成状況の振り返り	ハザードマップを作成した千代地区全戸への配布は、土砂災害防止法による区域指定後直ちに行った。また、集落単位での説明会も開催するなど、住民への周知度も高い。									
改革改善の考え方	①問題点	大雨等災害予見時における具体的な避難のあり方検討が必要								
	②改革提案	H25から始めた「中山間地域における避難のあり方検討」の計画的な早期実施								